

平成31年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

区名	番号	項目	提案内容の概要	所管局名	対応 ※一部対応含む
瀬谷	1	旧上瀬谷通信施設跡地のまちづくりプロジェクトの推進	旧上瀬谷通信施設内の土地利用基本計画策定及び事業化に係る検討	都市整備局	○
瀬谷	2	下水道直結式仮設トイレ設置事業に伴う保管場所の検討・対策について	災害時に活用する下水道直結式仮設トイレの器材の保管が困難な学校に対して保管用の倉庫を設置	資源循環局	-
瀬谷	3	旧上瀬谷通信施設海軍広場の一般開放について	早期に一般開放ができるよう、旧上瀬谷通信施設海軍広場の初期整備及び調整	都市整備局	○
瀬谷	4	瀬谷本郷公園の整備について	未整備地区を含めた瀬谷本郷公園全体の開園に向けての施設整備工事の着手	環境創造局	○
瀬谷	5	二ツ橋北部地区のまちづくりの事業推進 (都市計画道路三ツ境下草柳線及び瀬谷地内線の早期整備)	1 第1期地区の事業推進(実施設計、測量、工事等) 2 第2期以降地区の事業計画の作成 3 172haのうち、長期事業未着手地区の取り扱いの検討	都市整備局	○
瀬谷	6	境川流域水害対策計画に基づく総合的な治水対策の推進	阿久和川等の未改修箇所における河川改修の早期実施	道路局	○
瀬谷	7	阿久和地区センター及び地域ケアプラザにおけるコンコース進入路改修事業について	阿久和地区センター及び地域ケアプラザにおけるコンコース進入路を広げるための改修工事	市民局	○
瀬谷	8	寄り添い型生活支援事業の効果を最大限発揮するための事業の再構築	1 生活支援アシスタントとしてボランティアのほかに常駐スタッフの配置 2 各区の実情に応じた特色ある支援に対する加算メニューの新設	こども青少年局	○
瀬谷	9	生きる力を育む小学生の放課後学習支援の実施	学習意欲や学習習慣を身につけるための、放課後学習支援の実施	こども青少年局	-
瀬谷	10	都市計画道路横浜厚木線の事業化	1 相鉄三ツ境駅南口付近から主要地方道丸子中山茅ヶ崎と交差する南台交差点までの早急な事業化(4車線化) 2 区内の都市計画道路全線の早期整備	道路局	-

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	都市整備局
------	-------

瀬谷区		区政推進課、土木事務所	
担当者名	服部、葛野	TEL	367-5631
共通区	旭区		

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
1	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input checked="" type="checkbox"/>
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 旧上瀬谷通信施設跡地を取り巻く様々な現状と課題 1. 歴史的経緯を含めた現状の課題 ・ 跡地内では、都市基盤・農業基盤が未整備であり、河川水路等の既存既設の老朽化が顕著 ・ 都市計画道路の整備率が低く、近接する幹線道路において慢性的な渋滞が発生 2. まちづくり推進上の課題 ・ 国際園芸博覧会開催を契機として、土地利用を促進する必要 ・ 周辺道路の交通量増加への対策や「新たな交通手段」を含めた円滑な交通環境を実現
		◇地域ニーズ等の収集手段 ■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート ■ 6 区民要望 ■ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 旧上瀬谷通信施設内の地権者は、平成29年11月に「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」を立ち上げ、土地利用基本計画の早期策定と事業開始を求めています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会（平成30年8月までに12回開催）の開催等
		◇課題解決のための方策 1. 庁内プロジェクトの推進 ・ 庁内一丸となって「上瀬谷跡地プロジェクト」として、推進体制、ロードマップの明確化、予算措置を講じて取り組む。 2. 土地利用基本計画等の早期策定 ・ 民有地地権者の意向や、多様な市民ニーズの声を踏まえて、将来都市構造（ゾーニング）や具体の土地利用計画に反映させる。 3. 交通ネットワーク等の充実 ・ 国際園芸博覧会の開催に向けて、交通ネットワーク等の充実のため重点的に整備を行う。 ・ 周辺既存道路の改良や既存施設の管理に向けた暫定整備等を実施する。
		提案内容・概算額等 ○旧上瀬谷通信施設内の土地利用基本計画策定及び事業化に係る検討費（土地区画整理事業、農業振興、施設内の骨格となる道路・公園等）
		参考：区執行体制上の課題 区の執行体制の調整を要す
		局事業名 旧上瀬谷通信施設地区事業化検討費、旧上瀬谷通信施設地区関連事業化検討費
		所管局課・担当者 都市整備局 市街地整備推進課 岩間係長

◆局回答内容

都市整備局		市街地整備推進課	
担当者名	岩間係長	TEL	671-2059

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 旧上瀬谷通信施設内の土地利用基本計画策定及び事業化に係る検討費（土地区画整理事業、農業振興、施設内の骨格となる道路・公園等）	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名 資源循環局

瀬谷区 総務課
担当者名 菅家 TEL 367-5611
共通区 港南区・磯子区・戸塚区

継続年数 新規 添付資料

Main survey form table with columns: 番号, 提案種別, 項目, 内容. Includes sections for '地域のニーズと解決策' and '提案内容・概算額等'.

◆局回答内容

資源循環局 街の美化推進課
担当者名 畑 TEL 671-2555

Response details table with columns: 対応の有無, 対応しない理由, 対応する場合, 対応しない場合. Includes '対応しない理由' and '対応する場合の課題'.

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局
------	-------

瀬谷区		区政推進課	
担当者名	服部、葛野	TEL	367-5631
共通区			

継続年数	4年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
3	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	旧上瀬谷通信施設海軍広場の一般開放について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>旧上瀬谷通信施設海軍広場の概要</p> <p>1 一般開放の必要性</p> <p>旧上瀬谷通信施設海軍広場(8ha)は、これまで瀬谷区民だけでなく他区や市外の利用者の貴重なオープンスペースとして多目的な活用がされていたが、現在は、外周に管理柵が設置され侵入禁止となっているため、雑草が繁茂し荒地となっています。様々な市民から利用に関する要望が多く寄せられています。</p> <p>市民が返還を実感し、市の魅力発信・知名度アップにつながるよう、暫定利用としての開放を、国及び関係機関と調整する必要があります。</p> <p>2 返還後の利用実績</p> <p>地域の要望等に合わせて国に立入承認申請を行い、イベント等による短期間の利用を行っています。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<p>■1 日常の窓口対応等 ■2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 □4 地域懇談会等</p> <p>■5 区民アンケート ■6 区民要望 ■7 関係団体からの要望</p> <p>□8 その他 ()</p>	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>旧上瀬谷通信施設海軍広場については、区民及び市民が米軍施設返還を実感できる象徴的な施設として広く一般開放してほしいとの要望があります。</p>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
<p>瀬谷区が主催及び共催しているイベント(瀬谷フェスティバル、瀬谷マラソン、星空観測会、海軍広場まんきつフェスタ)や桜の開花時期に合わせた開放など、期間限定の一般開放を行っています。</p>		
◇課題解決のための方策		
<p>平成30年度に海軍広場の土壌調査が終了することを踏まえ、平成31年に迎える「瀬谷区制50周年」に向けて、早期に一般開放ができるよう、整備及び調整を進めます。</p> <p>1 整備手法</p> <p>整備の意義、期間、利用形態、跡地利用計画との整合性等を踏まえると、多目的広場としての簡易な整備及び管理が適当です。また、整備にあたっては、広場を開放した際の公益性・公平性を担保しつつ、利用者のニーズに沿って検討を進めていくことが必要です。</p> <p>2 管理・運営方法</p> <p>上瀬谷通信施設返還対策協議会及び地域の団体を中心とした管理運営委員会が管理を行います。また、運営にあたっては、利用エリアの調整、日常の草刈、トイレ等の管理が必要です。</p> <p>3 利用イメージ</p> <p>公平性・安全性を考慮し、南側のみを一般開放します。</p>		
提案内容・概算額等	初期整備費用：草刈、フェンス設置、看板設置、トイレ設置、管理棟	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	旧上瀬谷通信施設地区関連事業化検討費	
所管局課・担当者	都市整備局市街地整備推進課 岩間係長	

◆局回答内容

都市整備局		市街地整備推進課	
担当者名	岩間、奥田	TEL	671-2059

対応の有無	対応する	新規制度の制定を行う
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>平成27年6月に返還された旧上瀬谷通信施設の海軍広場について、工事着手するまでの間、将来の土地利用の制約にならない方法や範囲で暫定利用することができるよう区局で調整し、区が必要な初期整備を実施します。</p> <p>この事業は、現在国が実施している土壌汚染調査の結果、使用に問題がないことを確認することを前提に実施します。開放する面積や、利用者が公平に活用できるための区管理運営方法などについて、引き続き区局が連携して検討します。</p> <p>なお、早期に旧上瀬谷通信施設の事業実施を予定しているため、暫定利用は短期間となる見込みです。</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	環境創造局
------	-------

瀬谷区		区政推進課	
担当者名	服部、葛野	TEL	367-5631
共通区			

継続年数	7年以上	添付資料	
------	------	------	--

番号	提案種別	項目
4	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	瀬谷本郷公園の整備について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>瀬谷本郷公園は、瀬谷区においてスポーツができる地区公園を整備するために計画され、平成14年5月の公開から一部未整備地区が残っている状況です。 未整備地区は、平成30年度に基盤整備工事に着手したことを踏まえ、早期に未整備地区を含めた瀬谷本郷公園全体の開園に向けて事業を推進していく必要があります。</p> <p>【基礎データ】 都市計画決定 平成10年11月25日 面積 5.8ha (うち、未整備地区：1.8ha) 公開日 平成14年5月1日</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<p>■ 1 日常の窓口対応等 ■ 2 市民からの提案等 ■ 3 地区担当制 ■ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望 ■ 8 その他 (整備に向けた地元説明会)</p>	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>・未整備地区の整備促進の要望</p>	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>「都市計画マスタープラン瀬谷区プラン」では、多様性のある公園づくりとして、「公園の改修にあわせて、高齢者や子育て世代の交流の場などとして、地域の特性やニーズに応じた改善を進めていきます。」としています。</p>		
◇課題解決のための方策		
<p>・地域の実情を考慮した公園整備に向けた事業促進 ・基盤整備工事に続く施設整備工事の着手</p>		
提案内容・概算額等	<p>・「緑に囲まれたみんなの原っぱ」に基づいた施設整備工事の着手 (工事費)</p>	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	公園整備事業	
所管局課・担当者	環境創造局公園緑地整備課 渡部係長	

◆局回答内容

環境創造局		公園緑地整備課	
担当者名	渡部	TEL	671-2653

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	開園に向けて施設整備工事を行います。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

所管局名	都市整備局	瀬谷区		区政推進課		
		担当者名	服部、葛野	TEL	367-5631	
		共通区				
		継続年数	7年以上	添付資料		

番号	提案種別	項目
5	<input checked="" type="checkbox"/> 予算関連 <input type="checkbox"/> 制度関連	ニツ橋北部地区のまちづくりの事業推進 (都市計画道路三ツ境下草柳線及び瀬谷地内線の早期整備)
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等 ・ニツ橋北部地区については、昭和33年の都市計画決定以降、40年代からスプロールによる急速な市街化が進行したため、全体の事業実施は非常に困難な状況といえます。 ・地区内の都市計画道路三ツ境下草柳線については瀬谷駅北地区及び三ツ境駅周辺で一部整備済となっていますが、C地区(相沢一・二丁目、ニツ橋町部分)は未整備区間となっています。この区間は現道の県道瀬谷柏尾線を使用し、相鉄線を踏切で横断するため、周辺道路を含めて慢性的な渋滞が生じています。 ・C地区内の三ツ境下草柳線及び瀬谷地内線を整備することにより、瀬谷駅と三ツ境駅を踏切を横断することなく結ぶことが可能となること、瀬谷区北部との道路ネットワークが強化されることから、早期整備が必要とされています。	
	【基礎データ】 ◆ニツ橋北部地区土地区画整理事業 約171.6ha 昭和33年3月13日都市計画決定 ◆瀬谷駅北地区土地区画整理事業 約8.9ha 平成12年3月26日換地処分 ◆3・4・14三ツ境下草柳線、3・5・6瀬谷地内線 平成26年12月5日都市計画変更 ◆ニツ橋北部三ツ境下草柳線等沿道地区第1期地区事業計画 決定 平成27年8月25日	
	◇地域ニーズ等の収集手段 <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他(事業説明会での意見(地権者説明会等))	
	◇区民からの具体的な要望 地区内の地権者から、下記説明会等で事業の早期実現について要望があります。 平成24年度 ブロック別懇談会 平成25年度 測量説明会 平成26年度 ブロック別懇談会 平成27年度 地権者説明会 平成28年度 地権者説明会 平成29年度 地権者説明会、まちづくり検討会、周辺地区まちづくり懇談会、ブロック別懇談会	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 ・「都市計画マスタープラン瀬谷区プラン」では、三ツ境下草柳線を相鉄線北側の駅周辺へのアクセスを高める道路、瀬谷地内線を区北部の循環ルートを形成する道路として位置づけています。 ・ニツ橋北部地区の事業手法や段階的整備等について、平成16～19年度において都市整備局との区局連携事業により検討調査を行いました。 ・ニツ橋北部地区のうちC地区については、平成22年度にC地区の地権者に対する土地利用意向調査、23年度に沿道まちづくり説明会、24年から地権者の意向を把握するためのブロック別懇談会を区局連携で実施しました。	
	◇課題解決のための方策 ①ニツ橋北部三ツ境下草柳線等沿道地区土地区画整理事業(第1期地区)の推進 ②ニツ橋北部三ツ境下草柳線等沿道地区土地区画整理事業(第2期以降地区)の早期事業計画決定 ③C地区をはじめとした周辺まちづくりの推進 ④瀬谷地内線整備に伴う道路局との連携(相模鉄道本線以南)	
	提案内容・概算額等	・第1期地区の事業推進にかかる事業費(換地設計費、減価買収費、補償費、実施設計費、測量費、工事費等) ・第2期以降地区の事業計画決定に向けた事業計画作成費 ・172haのうち、長期事業未着手地区の取り扱いの検討
	参考: 区執行体制上の課題	現行の体制で対応
	局事業名	ニツ橋北部土地区画整理事業
	所管局課・担当者	都市整備局ニツ橋北部土地区画整理事務所 福田係長 都市整備局市街地整備推進課 佐久間係長

◆局回答内容

都市整備局		ニツ橋北部土地区画整理事務所	
担当者名	壬生	TEL	363-3110

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 第1期地区における減価買収、移転補償、実施設計、測量、工事等の実施及び第2期以降地区の事業計画決定に向けた事業計画書の作成	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局
------	-----

瀬谷区		区政推進課	
担当者名	服部、葛野	TEL	367-5631
共通区			

継続年数	5年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目	
6	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>	
	制度関連	<input type="checkbox"/>	
		境川流域水害対策計画に基づく総合的な治水対策の推進	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 <ul style="list-style-type: none"> ・二級河川境川における特定都市河川浸水被害対策法※に基づく河川及び流域について、河川管理者の神奈川県知事及び東京都知事が、平成26年2月14日に指定を公示し、平成26年6月1日に施行されました。 ・現在神奈川県が主体となって境川流域水害対策計画の策定が進められており、平成28年6月にパブコメを実施。引き続き策定に向けて進めています。 ・境川は過去に数多く溢水水位、避難判断水位に到達しており、境川流域水害対策計画に基づく事業推進により、総合的な治水対策が求められています。 ※特定都市河川浸水被害対策法 平成16年5月15日に施行された法律であり、この法律により、都市部を流れる河川の流域において、著しい浸水被害が発生し、又はそのおそれがあり、かつ、河道等の整備による浸水被害の防止が市街化の進展により困難な地域について、特定都市河川及び特定都市河川流域として指定し、浸水被害対策の総合的な推進のための流域水害対策計画の策定、雨水の流出を抑制するための規制等、浸水被害の防止のための対策の推進が図られることとなります。	
		◇地域ニーズ等の収集手段 ■ 1 日常の窓口対応等 ■ 2 市民からの提案等 ■ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 ()	
		◇区民からの具体的な要望 区民意見を考慮した境川流域水害対策計画の早期策定や、境川の治水対策について要望があります。	
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 「都市計画マスタープラン瀬谷区プラン」では、水害に強いまちづくりとして「未改修の護岸や遊水地の整備など治水対策を進めます。」としています。	
		◇課題解決のための方策 ・阿久和川等の未改修箇所の河川改修 境川流域水害対策計画による総合的な浸水対策に向け、現在進めている時間降雨量50mm対応の河川改修を早期に実施します。	
		提案内容・概算額等	河川改修に向けた調査、測量、工事、流域住民への周知、関係機関との連携 ・阿久和川：用地買収のための地権者調整（委託費）
		参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応
		局事業名	都市基盤河川改修事業
所管局課・担当者	道路局河川事業課 中島係長		

◆局回答内容

道路局		河川事業課	
担当者名	中島	TEL	671-3982

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 執行段階において予算の範囲内で事業の優先順位等を考慮し、実施する予定です。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	市民局
------	-----

瀬谷区		地域振興課、福祉保健課	
担当者名	山口、松木	TEL	367-5693 367-5702
共通区			

継続年数	新規	添付資料	○
------	----	------	---

番号	提案種別	項目
7	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	阿久和地区センター及び地域ケアプラザにおけるコンコース進入路改修事業について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	1 公共交通機関の本数が少なく、また最寄りのバス停への歩道が狭く危険なため、自家用車による利用が多い状況です。 2 車両の出入口が県道の下り坂に面しており、出入庫に危険が伴います。 3 コンコースの幅が狭く、混雑時など車両の通行が困難な状況です。 【基礎データ】 ①コンコース道幅：520 c m ②自家用車利用率：52%	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	コンコースの幅を広げて、車両の通行や出入庫が安全にできるようにして欲しい。(別添資料参照)	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	コンコースの改修をするため、地区センター会議において地域・利用者代表の意見を聞き、改修についての了解を得ています。	
◇課題解決のための方策		
1 花壇を撤去し、コンコースの幅を広げることで、車両のすれ違い及び出入庫を円滑にすることができ、安全性が向上します。 2 県道の通行車両に対する注意表示を設置し、出庫時の安全を確保します。 3 工事に当たっては施設と連携することにより、事業の円滑な進捗に努めます。 4 合築施設の修繕にあたっては、市民局及び健康福祉局の両局の予算が必要ですが、健康福祉局で予算を確保しても、市民局予算の不足により、他の合築施設を含めて、必要な修繕が早期に実施できない状況です。市民局において修繕費を確保することで、両施設で連携して適切な修繕を行います。		
提案内容・概算額等	市民局：工事費 ■■■■■ 円	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	コンコース改修事業	
所管局課・担当者	市民局地域施設課	

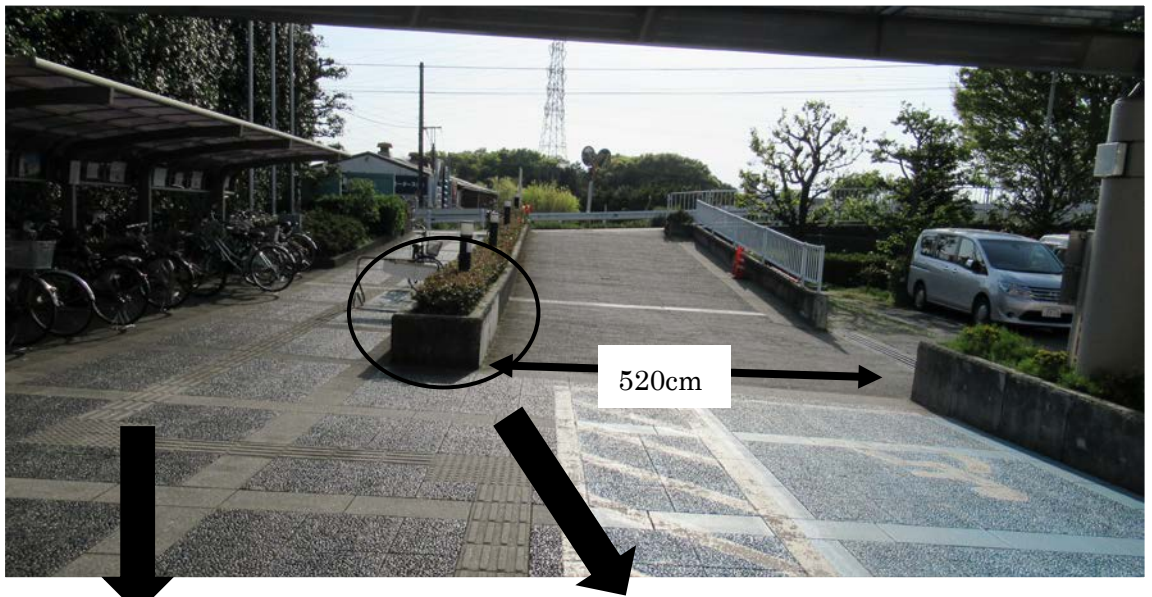
◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	土田、鈴木	TEL	671-2326

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	コンコース侵入路の安全性確保のため、改修費を計上します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	



駐車場前スロープ



平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	こども青少年局
------	---------

瀬谷区		こども家庭支援課	
担当者名	伊熊 美和子	TEL	367-5760
共通区	鶴見区 西区 南区 港南区 都筑区 戸塚区		

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目	
8	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	寄り添い型生活支援事業の効果を最大限発揮するための事業の再構築	
	制度関連 <input type="checkbox"/>		
地域のニーズと解決策	<p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <p>子どもの貧困対策、特にさまざまな困難を抱える児童に対する施策として有効な本事業は、事業開始から10年目を迎えますが、多くの区で事業費が不足しており、安定的な実施体制の確保が難しい状況となっています。 要因1:常勤スタッフ2名以外はボランティア(謝金)で対応する事業スキームが想定されていますが、実態は、事業を利用する子どもは、スタッフとの信頼関係ある間柄での個別支援が必要であり、一人ひとりに寄り添ったきめ細かい支援には経験とスキルが欠かせないため、ボランティアではなく、アルバイトを雇用して継続的に支援を行っています。 要因2:全区一律の支援内容が想定されていますが、実態は、区の実情に応じて特色ある支援が行われており、基本的支援を行うスタッフとは別に、それぞれの状況に対応できる人材を雇用しています。 これら人件費の想定との差額は、運営法人の持ち出しとなり、大きな負担となるだけでなく、事業の継続や新規施設の開設の妨げとなっています。</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p><input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <p>本事業は、基本的な生活習慣の習得を支援するとともに、子どもの成長に必要な居場所と時間を保障し、自己肯定感を育むことにより自立を促し、貧困の連鎖を断ち切る効果が期待されます。さまざまな困難を抱える子どもは増加しており、本事業の安定した継続のために、事業費等の見直しが望まれています。</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>瀬谷区運営方針の「子ども・青少年の育成」施策として、課題を抱える家庭への支援を位置付けています。平成22年より「子どもの生活塾」を開設し、さまざまな課題を抱えた家庭や子どもに対して、寄り添い型の生活支援を行っています。</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <p>運営の実態に即して運営費の見直しを行います。具体的には、以下のとおりです。</p> <p>1 人件費積算の見直し 経験とスキルを持つ人材による継続支援が可能になるようにボランティア謝金での設計をアルバイト賃金に見直して増額します。</p> <p>2 各区の実情に応じた特色ある支援に対する加算メニューの新設 各区の実情に応じた柔軟な支援ができるように、基本的な支援に加えて外国につながる児童の支援など特色ある支援を実施する場合の加算メニューを新設し、委託料を一律ではなく、実施状況に応じた積算とします。</p>		
	提案内容・概算額等	<p>1 人件費積算を見直し、生活支援アシスタントとしてボランティアのほかに常駐スタッフを置くことにより、支援者の専門性、責任性及び継続性を確保します。</p> <p>2 各区の実情に応じた特色ある支援に対する加算メニューを新設します。</p>	
	参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
	局事業名	寄り添い型生活支援事業	
	所管局課・担当者	こども青少年局青少年育成課 安形係長	

◆局回答内容

こども青少年局		青少年育成課	
担当者名	奈良	TEL	671-2353

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>困難を抱える児童一人ひとりに寄り添った支援と安定的な運営を継続するために、事業費積算を見直します。</p> <p>一方で、各区の実情に応じた特色ある支援に関する加算メニューについては、本事業で提供する支援内容の整理と併せて検討する必要があると考えており、現時点での予算化を見送ります。引き続き、支援内容の整理を行い、検討を進めていきます。</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	こども青少年局
------	---------

瀬谷区		こども家庭支援課	
担当者名	藤塚 貴代	TEL	367-5697
共通区			

継続年数	2年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
9	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
		生きる力を育む小学生の放課後学習支援の実施
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 1. 瀬谷区では複数の課題を抱えている世帯が多く、家庭での養育力が弱い、学習意欲や生活習慣が身につけていない子どもたちが存在しています。学習の遅れから不登校につながる可能性が高く、子どもに対する支援の充実が必要な状況です。 2. 小学生のうちから、学習意欲や習慣を身につけ、将来の夢や希望を持てるよう、身近な場所で幅広い児童を対象とした支援が必要です。 3. 「子どもの貧困対策推進に関する法律」が26年1月に施行されたほか、「横浜市子どもの貧困対策に関する計画」が28年度に策定されており、貧困の連鎖を防止するための学習支援の取組がより重要になっています。
		◇地域ニーズ等の収集手段 ■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 ■ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 ■ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 小学生の保護者アンケートの結果から、放課後の過ごし方についての要望で「学力向上に関わってほしい」「友達や地域との関わり」がそれぞれ3割程度あります。「わからないところをそのままにしている」「苦手なところを見てもらいたい」「関係づくりが苦手」など、一定のニーズが存在しています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 瀬谷区運営方針の「こども・青少年の育成」施策として、地域・学校と連携した小中学生への学習支援を位置付けています。 学校や放課後キッズクラブ等の協力を得て、小学校単位で放課後にキッズに登録している児童等を対象に週1回程度、地域の方と連携し、「生きる力を育む学習支援」を実施しています。
		◇課題解決のための方策 ・すべての児童を対象とした幅広い学習支援を、身近な学校施設で、放課後に安全に実施することが必要です。 ・子どもたちが、保護者や先生以外の地域の大人と継続的に関わることにより、社会性を養い、コミュニケーション能力を育むとともに、将来の夢や希望を育むことが必要です。 ・学習への理解や楽しさを感じるにより、自己肯定感を育み、学習意欲や習慣を身につけるための事業を行う必要があるため、小学生の学習支援事業の予算を希望します。
		提案内容・概算額等
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	こども青少年局放課後児童育成課 大岩係長	

◆局回答内容

こども青少年局		放課後児童育成課	
担当者名	大岩	TEL	671-4068

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 【こども青少年局】 放課後キッズクラブ事業は、全児童を対象に、「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた放課後の居場所を提供する事業です。放課後の学習活動のあり方については、教育委員会事務局が実施している学習支援の実施状況等も踏まえ、今後、丁寧に整理する必要があります。 【教育委員会事務局】 今年度より全ての学校教育事務所の「自主企画事業」として展開している小学生の学習支援の実施状況や、学校支援・地域連携課が実施している中学生の「放課後学び場」事業の実施状況等を踏まえ、今後の取組について検討していきます。	
	◇対応する場合の課題 放課後の学習支援の実施については、対象児童、実施主体、実施方法及び内容等を検討するとともに、既存事業との整理が必要です。	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局
------	-----

瀬谷区		土木事務所	
担当者名	山口	TEL	364-1105
共通区			

継続年数	6年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
10	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	都市計画道路横浜厚木線の事業化
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 都市計画道路横浜厚木線は、区内を東西に走る主要道路ですが、区内ほぼ全線にわたり現況2車線となっています。特に相鉄三ツ境駅南側区間は、歩道が狭小で歩行者や自転車等の利用者の安全が確保できない状況となっています。また、沿線には区役所や警察署などの主要官公庁があり、瀬谷区にとって防災上の生命線といえる道路です。 旧上瀬谷通信施設跡地の利用計画や2026年の国際園芸博覧会等を考慮すると、瀬谷区内の道路ネットワークの早急な整備が必要だと考えます。
		◇地域ニーズ等の収集手段 <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 横浜建設業協会瀬谷区会から、防災の観点上、特に警察署前から4車線幹線道路である主要地方道丸子中山茅ヶ崎と交差する南台交差点までの4車線化が要望されています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 緊急輸送路、災害時体制の検討により主要地方道横浜厚木の重要性について再確認しています。 (平成24年度) 【瀬谷区運営方針】 「安全・安心のまちづくり」 【道路局運営方針】 「市民生活の安全・安心の確保」、 「横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備」
		◇課題解決のための方策 ①相鉄三ツ境駅南口付近から主要地方道丸子中山茅ヶ崎と交差する南台交差点までの早急な事業化(4車線化) ②区内の都市計画道路全線の早期整備
		提案内容・概算額等 路線測量、概略設計及び用地取得費
		参考：区執行体制上の課題 局事業名 所管局課・担当者

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	故島・原	TEL	671-2777

対応の有無	対応しない	その他
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 平成28年3月に公表した「都市計画道路の優先整備路線」において、横浜厚木線は優先的に事業着手する路線としていますが、現在事業中の路線の完成が遅れており、他の路線も含め新規路線の事業着手が困難な状況です。事業中路線の進捗状況等を見ながら、効率的、効果的な整備を検討し、順次事業化を図っていきます。 ◇対応する場合の課題	